

タカレンジーフードファン

設置説明書

型式

VMH-602L/VMH-752L/VMH-902L
VMH-602R/VMH-752R/VMH-902R
VMH-602BL/VMH-752BL/VMH-902BL
VMH-602BR/VMH-752BR/VMH-902BR

＜＜高風量タイプ＞＞
VMH-602LH/VMH-752LH/VMH-902LH
VMH-602RH/VMH-752RH/VMH-902RH
＜＜リモコンタイプ＞＞
VMH-602LH/VMH-752LH/VMH-902LH
VMH-602RH/VMH-752RH/VMH-902RH
VMH-602BLH/VMH-752BLH/VMH-902BLH
VMH-602BRH/VMH-752BRH/VMH-902BRH

＜＜標準品＞＞
VMH-602L/VMH-752L/VMH-902L
VMH-602R/VMH-752R/VMH-902R
＜＜高風量タイプ＞＞
VMH-602LH/VMH-752LH/VMH-902LH
VMH-602RH/VMH-752RH/VMH-902RH
VMH-602BLH/VMH-752BLH/VMH-902BLH
VMH-602BRH/VMH-752BRH/VMH-902BRH

＜＜100V連動出力端子付・高気密/同時給排気対応型＞＞
VMH-602BL/VMH-752BL/VMH-902BL
VMH-602BR/VMH-752BR/VMH-902BR
＜＜高風量タイプ＞＞
VMH-602BLH/VMH-752BLH/VMH-902BLH
VMH-602BRH/VMH-752BRH/VMH-902BRH

＜＜高気密/同時給排気対応型＞＞
VMH-602BL/VMH-752BL/VMH-902BL
VMH-602BR/VMH-752BR/VMH-902BR
＜＜高風量タイプ＞＞
VMH-602BLH/VMH-752BLH/VMH-902BLH
VMH-602BRH/VMH-752BRH/VMH-902BRH

設置される方へのお願い

- 設置作業の前にこの説明書をよくお読みの上、正しく設置してください。
- 取扱説明書は必ずご使用されるお客様にお渡しください。
- お渡しできない場合は、お客様のわかりやすい場所に収めておいてください。

安全上のご注意

必ずお守りください

- 設置作業の前に、この設置説明書の安全上のご注意をよくお読みのうえ正しく設置してください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ずお守りください。

○表示と意味は次のようになります。

○絵文字の意味は次の通りです。

警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷を負う可能性が想定される内容。	！	行為の指示（必ずすること）必ず実行してください。
注意	誤った取扱いをしたときに、傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容。	！	禁止行為（してはいけないこと）絶対にしないでください。

警告

- 改造はしないでください。修理技術者以外の方は分解したり修理しないでください。
- 分解禁止 火災、感電、けがの原因となります。

- メタルスズ張り、ワイヤスズ張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製のダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルスズ、ワイヤスズ、金属板とが電気的に接触しないように取付けてください。

- 漏電した場合、発火することがあります。

- 交流100V以外では使用しないでください。
- 火災、感電の原因となります。

- レンジフード本体と排気ダクトは、可燃物との距離を10cm以上離すか、不燃材料を使用して可燃物を覆う必要があります。

※詳しくは、所轄の消防署へ確認ください。

注意

- 本体の取付は十分強度のあるところを選んで裏面の設置方法に従って正しく行ってください。

落下によりけがをされるおそれがあります。

- 羽根や部品の取付は確実に行ってください。

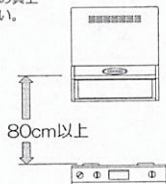
落下によりけがをされるおそれがあります。

- 電気配線工事は電気工事に依頼してください。（電気設備技術基準、内線規定に従っていることを、電気工事店に確認してください。）

接続不良や誤った配線工事は感電や火災のおそれがあります。

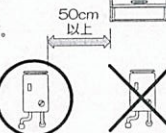
お願い

グリッフィルターの下端が加熱器具の真上80cm以上の位置に取付けてください。



ガス湯沸器の真上には取付けてください。湯沸器の取付はレンジフード前面から50cm以上離して取付けてください。

モーターの焼損、排ガスによる塗装面の錆発生の原因となります。



空気の入れ口が必要です。開口面積100～150cm²が目安となります。

効率の良い換気を行うために空気の入れ口を設けてください。

全体換気の必要な所は他の換気扇との併用をおすすめします。

設置作業の際はけが防止のため、手袋を着用してください。

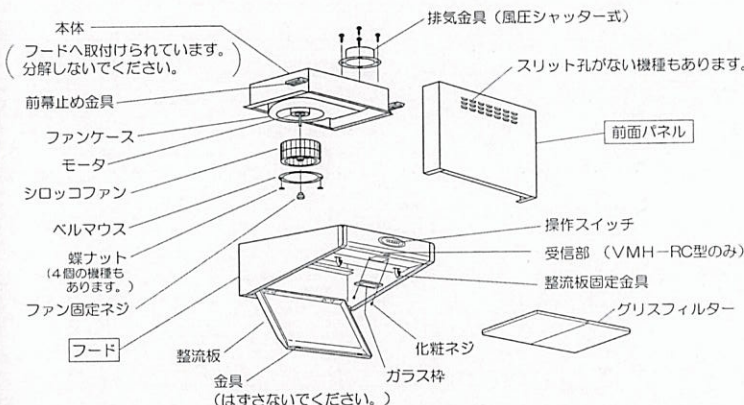
ダクト接続をする場合、建築基準法（同施行令）および消防法等の関連法規に従って有資格者が行なってください。

非常に長いダクトや細いダクト、あるいは極端に屈折したダクトは排気効果をいじめるしく低下させたり、騒音が大きくなりますので使用しないでください。また、指定の換気口部材以外を使用した場合も排気効果の低下の原因となります。

エアコン等の風が直接あたらないようにしてください。風を受けると吸込み低下につながる可能性があります。

各部の名称

前面パネルは別の梱包となります。



製品寸法図

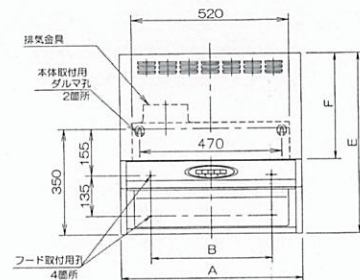
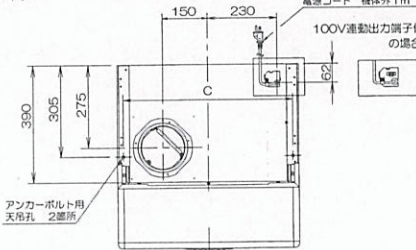
■重量、A・B・C・D寸法表 (mm) ■E・F寸法表 (mm) ◎専用コンセントを付けてください。

機種	重量	A寸法	B寸法	C寸法
600	18kg	600	400	560
750	21kg	750	550	710
900	24kg	900	700	860

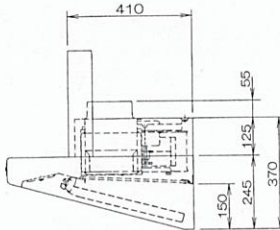
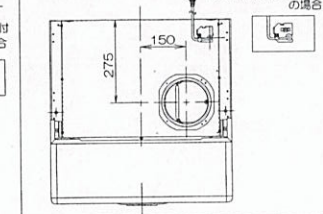
機種	E寸法	F寸法
H600	600	355
H700	700	455
H800	800	555

機種	電源プラグ	コンセント容量
VMH-□□2A* VMH-□□2H VMH-□□2B* VMH-□□2BL VMH-□□2* VMH-□□2B* VMH-□□2BL VMH-□□3C*	二極平行 二極並列型	125V 15A

Lタイプ



Rタイプ



（標準品は排気金具が付属されます。）

付属部品

リモコンセット（VMH-RC型のみ）
・リモコン（1個） ・リモコンホルダー（1個） ・乾電池（2個） ・マグネット（1個） ・ネジ（2個）

扉金具本体取付ネジ3.8×40（2個） 取付ネジ3.8×38（8本）

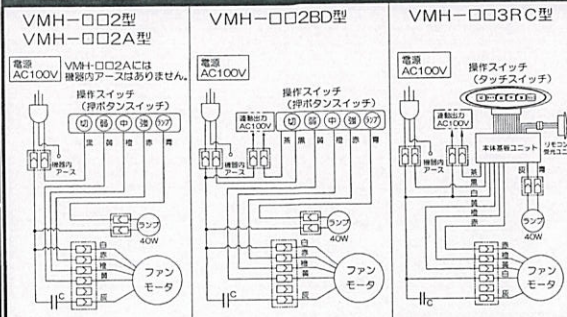
本体取付用 扉取付用

バインドアップピンネジ4×10（4本） パネル取付金具（2個） KP用ワッシャー（4個）

排気金具取付用 前面パネル固定用 キッチンパネルに取付ける場合使用

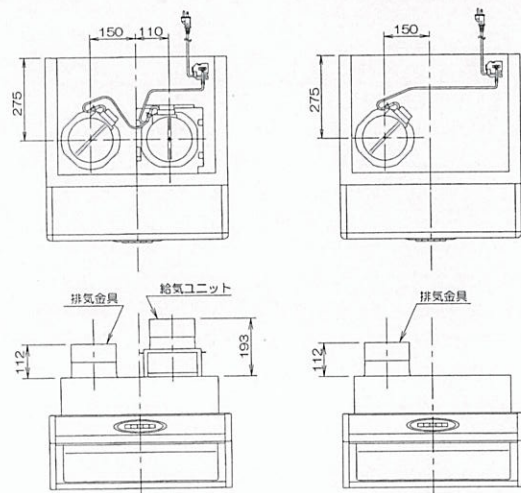
配線図

電気工事は電気設備技術基準や内線規定に従っていることを、電気工事店に確認してください。



・同時給排気対応「給排セットHJ」（別売部品）取付時

・高気密排気対応「EDダクト金具HJ」（別売部品）（電動シャッター式排気金具）取付時



本図はLタイプになります。Rタイプは左右逆手になります。

設置方法

設置方法は必ず守ってください。
正常に、ダクトと接続ができなくなり、故障の原因になります。

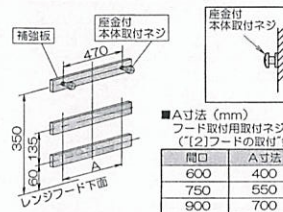
[1] 取付前の準備

タカラレンジフードフォンの重量は18~24kgあります。
重量に十分耐える取付をしてください。

- 補強板を使用する場合は、ホルムアルデヒドなどの取扱いに注意してください。
- コンクリート、タイル、土壁の場合
 - 板厚12mm以上の場合は直接壁面に取付けできます。
 - 板厚12mm未満の場合は12mm以上になるように補強板を取付けていることを確認してください。
- 取付壁に補強板などがあることを確認してください。

座金付本体取付ネジの取付

- 座金付本体取付ネジ (3.8x40) を下図の法で補強板面に取付けてください。



ダクト接続作業について φ150丸ダクトが右図の位置に設置されていることを確認してください。

(A) 上方排気

- 付属排気金具 (風圧シャッター式) または (別売部品) ED丸ダクト金具HJ (電動シャッター式) の場合
 - ・ダクト (φ150) を天井面よりA寸法だけ出ていることを確認してください。

■A、B寸法 (mm)

給排気部品	製造高さ	A寸法	B寸法
付属排気金具 (風圧シャッター式)	H700	300	330
	H800	400	430
(別売部品) ED丸ダクト金具HJ (電動シャッター式)	H600	150	230
	H700	250	330
	H800	350	430

- 【別売部品】給排セットHJの場合
 - ・ダクト (φ150) を天井面よりC、D寸法だけ出ていることを確認してください。

■C、D、E寸法 (mm)

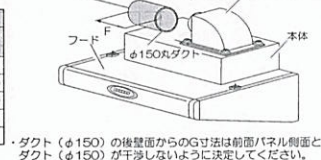
給排気部品	製造高さ	C寸法	D寸法	E寸法
(別売部品) 給排セットHJ	H600	150	87	230
	H700	250	187	330
	H800	350	287	430

(B) 左・右・後方排気

- VMH丸ダクト金具Lに付属排気金具または (別売部品) ED丸ダクト金具HJを取付けて使用します。
- ・ダクト (φ150) を壁面よりF寸法だけ出ていることを確認してください。

■F寸法 (mm)

排気方向	付属排気金具	ED丸ダクト金具HJ
Lタイプ	左排気	30 105 180 不可 50 125
	右排気	330 405 480 270 345 420
Rタイプ	左排気	330 405 480 270 345 420
	右排気	30 105 180 不可 50 125
後方排気	155	100



ご注意 φ150丸ダクトの配管位置について

- 左・右排気の場合、右図のようにVMH丸ダクト金具Lの貫通位置にダクトを配管すると、前面パネル面とダクトが干渉します。ダクトを後壁側へずらし、前面パネルと干渉しない位置へ配管してください。

- ダクト配管作業を簡単にするため、右排気の場合はLタイプ、左排気の場合はRタイプを使用することをお勧めします。

[2] フードの取付

取付は付属のネジで確実に行ってください。

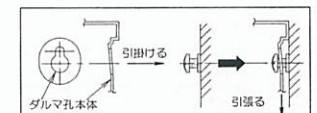
1. 整流板をはずします。
 - (1) 右図のように両手で整流板をしっかり支えてください。
 - (2) 指で左右の固定金具のレバーを手前へ動かしてください。
 - ・整流板が固定金具からはずれます。
 - (3) 整流板を両手で支えたまま、ゆっくり回してください。
 - (4) 整流板を開けて、本体丁番からはずしてください。

2. グリスフィルターをはずします。
 - (1) グリスフィルターのつまみをしっかり持ってください。
 - (2) 後方へ押して手前の溝からはずしてください。

3. フードを壁面へ取付けます。

上方排気の場合は壁面へ取付ける前に「排気金具」を本体へ取付けます。
・『3』給排気部品の取付を参照し、取付けてください。

- (1) 事前に取付けた座金付本体取付ネジを本体後側の本体取付用ダクトマスを引掛けてください。
- (2) 引掛けた後、フードを下へ引張り、所定の位置へ合わせてください。

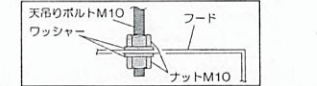


4. フードを確実に固定します。

- ・フード取付用ネジ (4箇所) で固定します。

天吊りボルトを使用する場合

- 下図のように天吊りボルトM10で固定してください。
- ・天吊りボルト・ナットは市販品を使用してください。
- ・フード天面のアンカーボルト用天吊り孔のノックアウト孔 (左右2箇所) は切り抜いて使用してください。



取付後、座金付本体取付ネジ (2箇所)、取付ネジ (4箇所) で確実に固定されているか確認してください。

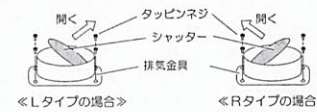
[3] 給排気部品の取付

同時給排気で別売部品『給排セットHJ』を使用の場合は、付属の説明書に従って取付けてください。

(A) 上方排気の場合 (φ150丸ダクト排気) 付属のタッピングネジ (4本) で固定してください。

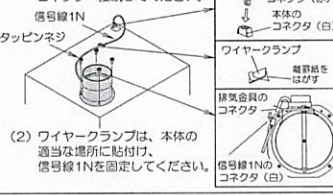
付属排気金具の場合

- 排気金具の取付はシャッターの開く方向がレンジフード正面から見て、図のようにしてください。
- 取付方向を誤ると、排気不良や異常音発生の原因となります。



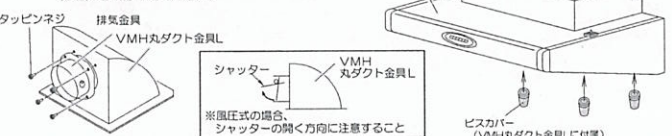
(別売部品) ED丸ダクト金具HJの場合

- (1) 信号線1Nのコネクタ (赤) を本体のコネクタへ、コネクタ (白) を排気金具のコネクタへ接続してください。



(B) 左・右・後方排気の場合 (φ150丸ダクト排気)

- (1) 付属排気金具またはED丸ダクト金具HJをVMH丸ダクト金具Lへ取付けてください。
- (2) VMH丸ダクト金具Lを本体へ取付けてください。
- ・VMH丸ダクト金具Lに付属のタッピングネジ (4本) を使用してください。
- ・ネジ取付後、フード内側からネジ先端にビスカバー (3個) を取付けてください。



[4] 給気、排気ダクトの接続

- φ150丸ダクトと接続口 (排気金具、給気口ユニット) をアルミテープなどでテーピングします。
- (この作業は、有資格者へ依頼してください。)
- ・空気漏れのないように確実に行ってください。

ご注意 φ150丸ダクトと接続口を接続する際、無理な力が接続口側へ加わらないように注意してください。内蔵シャッターが開かなくなり、給気・排気不良の原因になります。

[5] 電源の接続

電気工事は電気工事店に依頼してください。

- コンセントが専用であることを確認し、電源プラグをコンセントに差込んでください。

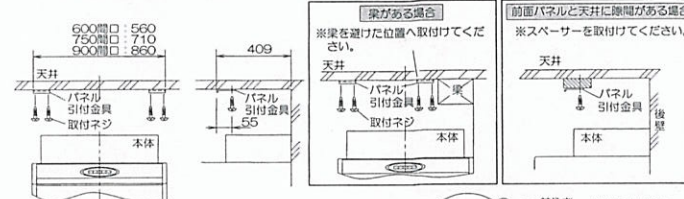
- 注意
 - ◎交流100V以外では使用しないでください。
 - ◎電気設備技術基準、内線規定に従っていることを、電気工事店に確認してください。

[6] 前面パネルの取付

ご注意 前面パネルの取付について

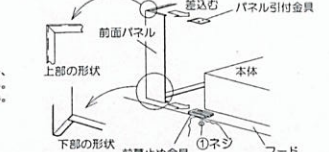
- 前面パネルは正しく確実に取付けてください。
- 前面パネルの取付が正しくない場合、振動や落下の原因になります。

1. パネル引付金具を天井へ取付けます。
 - ・下図の天井位置にパネル引付金具を取付けてください。
 - ・前面パネルと天井の間に隙間がある場合はスペーサーを取付けてください。
 - ・梁がある場合は梁を避けた位置へ取付けてください。



2. 前面パネルをフードに取付けます。

- (1) フード天面の前止め金具の①ネジをフード内側より、少し緩めてください。
- (2) 前面パネル上部をパネル引付金具と天井の間へ差込み、下部は前止め金具とフードの間へ差込んでください。
- (3) フード内側より前止め金具の①ネジを締め付け、前面パネルを固定してください。

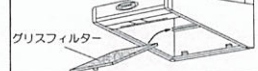


[7] 整流板の取付

取付方法は「2」で整流板をはずしたときと逆の要領で行ってください。

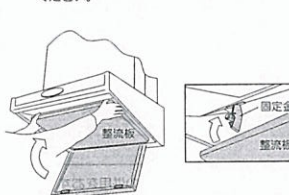
1. グリスフィルターを取付けます。

- ・グリスフィルターを後部の溝にはめ込み、押しながら手前の溝にはめてください。



3. 整流板を固定金具へ取付けます。

- ・整流板を両手で支え、ゆっくり回して取付けてください。



ご注意 整流板取付時は必ず確認してください。

- ◎整流板 (裏面) にはめ込んでいる金具ははずさないでください。奥まではめ込まれているか確認してください。
- ◎整流板が確実に固定金具に取付けていることを確認してください。
- ◎片手で整流板の中央を持ち、軽く下へ引張り、はずれないことを確認してください。



[8] 試運転

- 操作スイッチを押して動作確認をしてください。
- RC型はリモコンでも動作確認をしてください。
- 本体、フード、各部品の取付が確実に振動や異常音がないか確認してください。

タカラスタンダード株式会社

本社 〒536-8536 大阪府東区鶴野東1丁目2番1号
TEL.066962-1531